

支出調書

会派名	新政会	代表者	経理責任者	起案者		
				遠藤 利子 		
区 分	事 由	費 目 ・ 金 額				小 計
1 調査研究費		交通費		旅費		
		自動車燃料費		資料作成費		
		調査委託費		振込料		
2 研 修 費	2025年10月15日～17日 令和7年度 市町村議会議員研修 [3日間コース] 「地方財政制度の考え方と健全 財政・災害」滋賀県	会場費		講師謝金		76,000
		出席者負担金・会費	11,000	交通費		
		旅費	64,120	自動車燃料費		
		資料作成費		食糧費		
		振込料	880			
3 広 報 費		会場費		交通費		
		自動車燃料費		資料作成費		
		広報誌 (紙)		報告書等印刷費		
		送料 (折込料含む)		ウェブページ 掲載代		
		茶菓子代		振込料		
4 広 聴 費		会場費		交通費		
		自動車燃料費		資料作成費		
		茶菓子代		振込料		
5 要 請 ・ 陳 情 活 動 費		交通費		旅費		
		自動車燃料費		資料作成費		
		振込料				
6 会 議 費		会場費		交通費		
		自動車燃料費		資料作成費		
		振込料				
7 資 料 作 成 費		印刷製本費		翻訳料		
		筆耕料		振込料		
8 資 料 購 入 費		法規追録代		参考図書代		
		新聞 (日刊紙) 購読料		雑誌等購読料		
		有料データベース 等利用料		振込料		
9 人 件 費		賃金		社会保険料等		
		振込料				
10 事 務 所 費		備品購入費		事務機器等 リース代		
		消耗品等事務費		印刷代		
		振込料		配送手数料		
11 通 信 運 搬 ・ 自 動 車 燃 料 費		電話料等 (按分)		郵便料等		
		自動車燃料費 (按分)		その他		
支出年月日  2025 年 10 月 7 日		現金出納簿 支出番号	11	合 計	76,000	

支出明細書兼支出証明書

支出番号 11

区 分				※該当する区分に○印	費 目 名
1 調査研究費	② 研 修 費	3 広 報 費	4 広 聴 費		出席者負担金 会費 ※該当する支出費目を記入
5 要請・陳情活動費	6 会 議 費	7 資料作成費	8 資料購入費		
10 事 務 所 費	11 通信運搬・自動車燃料費(郵便料等)				
支 出 目 的 (支出事由)	令和7年度市町村議員研修 [3日間コース]				
	地方財政制度の考え方と健全財政・災害 負担金				
内 容	10月15日講義「財政健全化における川西市の取組み」「意見交換」				
	10月16日講義「地方財政の考え方、地方財政のよくある質問 1. 2. 3」				
	10月17日講義「財政の視点から災害対応を考える」				
支 出 年 月 日	支 出 先			支 出 金 額	
2025 年 10 月 7 日	公益財団法人 全国市町村国際文化研修所			11,000 円	
上記のとおり支出します。					
				議員氏名	遠藤 利子



領収書及び料金内訳明細書等貼付欄

※複数の領収書等を貼る場合は、重ならないように貼付してください。
※欄内に貼付できない場合は、別記第11号様式「領収書等整理票」に貼付してください。

☐ 振込金受取書(兼振込手数料受取書)

☒ 預金払戻請求書・預金口座振替による振込受付書(兼手数料受取書)

ご指定日 7 年 10 月 7 日																																
金融機関名(漢字)を左づめてご記入ください(東邦銀行の場合は記入不要)										支店名(漢字)を左づめてご記入ください																						
お振込先	滋 賀										銀行	唐 崎										支出店										
	(○をおつけください) 信 金 信 組 農 協 その他																															
お受取人(口座名義)	1. 普通 2. 当座 4. 貯蓄 9. その他										口座番号	右づめてご記入ください										金額	十 百 千 万 十 万 千 百 十 円									
	○											4 6 1 1 5 8											1 1 0 0 0									
カタカナ	カ イ セ ン コ ク シ チ ヨ ウ ソ ン ケ ン										消費税込手数料										円	部 度 後 納										
	シ ュ ウ サ イ タ ン セ シ コ ク シ チ										8 8 0																					
おなまえ(漢字)	おなまえ(漢字)										当行をご利用くださいましてありがとうございました。										株式会社 東邦銀行											
	(公財) 全国市町村研修財団 全国市町村国際文化研修所																				収入印紙											
カタカナ	コ オ リ ヤ マ シ キ カ イ シ ン セ イ カ イ																				1. 振込金受取書の場合、 振込金+手数料(消 税を除く)5万円以 上の場合は200円貼付 2. 振込金受付書の場合、 不要 3. 当店の本人口座へ 入金時は200円貼付											
																					出1納 7. 10. 7 東邦銀行 郡山市役所支店											
おなまえ(漢字)	おなまえ(漢字)																				株式会社 東邦銀行 登録番号 T9380001001018											
	郡山市議会 新政会																				税率 消費税額 10% 80											
日中連絡できるお電話番号(携帯・自宅)	日中連絡できるお電話番号(携帯・自宅)																															
おところ	おところ																															
	郡山市朝日1丁目 23-7																															

- 振込先銀行へは、受取人名のほか預金種目・口座番号を通知します。
また、受取人名等をカナ文字により送信します。
- 記載内容に不備があった場合は、照会等のために振込が遅延することがあり、場合によってはご入金できないこともあります。
- 振込内容につき訂正・取消が生じた場合は、各種依頼書の提出および別途当行所定の手数料が必要となります。
この場合、振込手数料は返却いたしません。なお、場合によっては取消ができないこともあります。この場合、取消手続に関わる手数料は返却いたしません。
- 通信機器、回線の障害等やむを得ない事由によって振込が遅延することがありますのでご了承ください。

令和7年9月4日

福島県 郡山市議会議長様

公益財団法人全国市町村研修財団
全国市町村国際文化研修所

学長 小池 信之

滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号

登録番号 T6040005002305

研修受講決定兼請求書

先にお申込みいただきました貴所属議員の研修受講について、次のとおり決定しましたので、お知らせいたします。
つきましては、以下の事項にご留意のうえ、所要の事務手続等についてよろしく願います。

氏名	遠藤 利子
コース名	令和7年度市町村議会議員研修 [3日間コース] 「地方財政制度の考え方と健全財政・災害」
研修期間	令和7年10月15日（水）～ 10月17日（金）

- 1 研修受講に要する経費の納入について
下記金額を、指定期間内に指定口座に振り込んでください。

- (1) 納入金額：11,000円
＜内訳＞ 研修費(①1,300)(課税10%分) 3,900円
食費(課税10%分) 950円
食費(不課税分) 3,850円
研修生活動費(課税10%分) 2,300円
- (2) 税区分による内訳：(課税10%分) 7,150円(内税 650円)
(不課税分) 3,850円(内税 0円)
- (3) 指定期間： 令和7年10月3日（金）～ 10月9日（木）
- (4) 指定口座： 滋賀銀行 唐崎支店 普通No. 461158
みずほ銀行 大津支店 普通No. 1705329
名義人：ザイ センコクシヨウリシケシヨウサ イタン
センコクシヨウリシケサインカンシヨウシヨ
(公財) 全国市町村研修財団
全国市町村国際文化研修所

- 注1) 振込依頼書の「ご依頼人氏名欄」は、必ず団体名を記入してください。
注2) 貴団体からの振込通知書の送付は不要です。
注3) 振込手数料は、貴団体で負担願います。

発行責任者：
発行担当者：

TEL：077-578-5932(教務部・調査研究部)

出張（調査等）申請書兼旅費請求書

支出番号 11

会 派 会 長 様

申請代表者氏名 遠藤 利子



下記の用務により出張（調査等）したいので申請するとともに、旅費を請求いたします。
記

請求金額	64,120 円（1人あたり 64,120 円） ※別紙、旅費計算書のとおり	
目的	2025 年 10 月 15 日～17 日 令和 7 年度市町村議員研修 3 日間コース「地方財政制度の考え方と健全財政・災害」に参加	
用務先	滋賀県大津市 公益財団法人全国市町村国際文化研修所（JIAM）	
内容	・財政健全化における川西市の取り組み、意見交換 ・地方財政制度の考え方、地方財政制度のよくある質問 ・地方自治体の財政状況はどう見れば分かるのか、財政の視点から災害対応を考える	
期間	2025 年 10 月 15 日 ～ 2025 年 10 月 17 日	
行程	別紙行程表のとおり	
出張（調査等）者氏名	・遠藤 利子 ・ ・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・ ・ ・
特記事項	特になし	

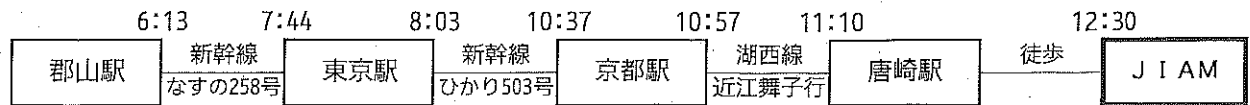
上記のとおり出張（調査等）を許可します。					
会派会長	経理責任者			受理日	2025 年 9 月 16 日
				許可日	2025 年 9 月 16 日
				支出日	2025 年 9 月 16 日

上記金額を受領しました。		
2025 年 9 月 16 日	申請代表者氏名 遠藤 利子	

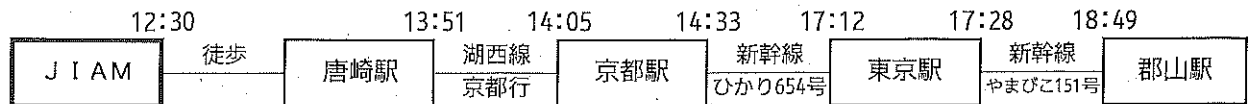
令和7年度 新政会 行政調査行程表

1 行程

□ 1日目：10月15日（水）



□ 3日目：10月17日（金）



2 人員 1名

遠藤 利子 議員

3 調査内容

令和7年度市町村議会議員研修

○地方財政制度の考え方と健全財政・災害

【10月15日】

- ・財政健全化における川西市の取り組み
- ・意見交換

【10月16日】

- ・地方財政制度の考え方
- ・地方財政のよくある質問その1、2、3
- ・ふりかえり

【10月17日】

- ・地方自治体の財政状況はどう見れば分かるのか
- ・財政の視点から災害対応を考える

4 会場兼宿泊先

全国市町村国際文化研修所（J I A M）
〒520-0106 滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号
電話：077-578-5932（教務部）

5 その他

行政調査旅費計算書

会派名 : 新政会
 参加議員 : 遠藤 利子
 日程 : 令和7年10月15日～17日
 行先 : 全国市町村国際文化研修所（滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号）

10月15日	郡山駅	新幹線 226.7	東京駅	新幹線 513.6	京都駅	湖西線 近江舞子 行 14.0	唐崎駅									
運賃	10,670															10,670
急行料金	7,930	10,360														18,290
席種	グリーン	グリーン														0
実費																0

10月17日	唐崎駅	湖西線 京都行 14.0	京都駅	新幹線 513.6	東京駅	新幹線 226.7	郡山駅										
運賃	10,670																10,670
急行料金			10,560	7,930													18,490
席種			グリーン	グリーン													0
実費																	0

交通費	58,120		58,120
日当	3,000 ×	1日 =	3,000
	1,500 ×	2日 =	3,000
合計		64,120 円	× 1名 = 64,120 円

※受講に要する経費11,000円に、研修、宿泊、食事（朝2回、昼2回、夕2回）、資料等にかかる費用が含まれているため、宿泊料は支給しない。

※昼食代が上記経費に含まれているため、1日目と2日目の日当を半日当に調整する。

出張（調査等）報告書兼旅費精算書

支出番号 11

会 派 会 長 様

下記のとおり出張（調査等）したので報告するとともに、受領した旅費を精算（返納）いたします。

出張（調査等）議員名

・遠藤 利子		・	印
・	印	・	印
・	印	・	印
・	印	・	印
・	印	・	印
・	印	・	印

記

期 間	2025 年 10 月 15 日～17 日					
目 的	令和 7 年度市町村地方議員研修 3 日間コース「地方財政制度の考え方と健全財政・災害」に参加					
用 務 先	滋賀県 大津市					
	公益財団法人全国市町村国際文化研修所（JIAM）					
行 程	別紙行程表のとおり					
内容及び成果	・財政健全化の地方事例					
	・地方財政制度の考え方・財政の視点から災害を考える					
旅 費 精 算	受領額	64,120 円	精算額	64,120 円	返納額	0 円

上記のとおり出張（調査等）の内容を確認するとともに、精算を受けました。					
会 派 会 長	経 理 責 任 者			受 理 日	2025 年 10 月 21 日
				確 認 日	2025 年 10 月 21 日
				精 算 日	2025 年 10 月 21 日

※添付書類：行程表、調査等先説明資料、要請・陳情書（写）、調査等先の名刺、写真、成果報告書他

受講証明書

団 体 名 : 福島県 郡山市

所属・氏名 : 郡山市議会 議員 遠藤 利子

研 修 名 : 令和7年度市町村議会議員研修 [3日間コース]
「地方財政制度の考え方と健全財政・災害」

期 間 : 令和7年10月15日 (水) ～ 10月17日 (金)

上記の研修を受講したことを証明します。

令和7年10月17日

全国市町村国際文化研修所
学 長 小 池 信 之





令和7年度

JIAM

市町村議会議員研修[3日間コース]

地方財政制度の考え方と健全財政・災害

地方財政は地域の公共サービスを提供するうえで、重要な役割を担っています。本研修では、地方財政制度の考え方や仕組みについて学び、自治体財政の現状や様々な課題について考えます。また、自治体財政の現場の状況等を学ぶことにより、これからの議員や議会の役割について理解を深めます。

研修のポイント

- 講義や演習を通じて、地方財政についての知識の習得や、財政状況を把握・分析するための考え方について学びます。
- 事例紹介を通じて、自治体の財政健全化についての取組や財政運営について学びます。
- 財政的視点から見た自治体の災害対応について学びます。
- 自治体財政の現状と課題を理解し、議員や議会の役割について理解を深めます。

共催：全国市議会議長会、地方公共団体金融機構 後援：全国町村議会議長会

開催要領

日程

令和7年10月15日(水)～10月17日(金) (3日間)

場所

全国市町村国際文化研修所 JR京都駅より湖西線約15分 唐崎駅下車徒歩約3分

対象

市区町村議会議員

3日間全日程をご受講いただける方を対象とします。途中退所や一時帰庁はできませんのでご注意ください。過去に受講された方もお申込みいただけますが、より多くの方に受講していただくため、申込人数によっては、お断りする場合がありますので、予めご了承ください。

募集人数

60人 募集人数を大幅に超えた場合は、申込期限後に抽選等をさせていただきますので、予めご了承ください。なお、受講者の決定については、他の研修、セミナーの申込み・受講の有無にかかわらず、本研修単独で行います。

宿泊

研修所宿泊棟(宿泊型研修) ※外泊はできません。

経費

11,000円 左記金額は、研修、宿泊、食事(朝食2回、昼食2回、夕食2回)、資料等にかかる費用です。なお、事前準備・事前学習及び最終日の昼食にかかる費用は含まれておりません。

申込期限

令和7年8月29日(金)まで

申込方法

議会事務局を通じて、JIAMホームページ内「研修Web申込みフォーム」からお申込みください。

受講決定

受講の可否については、開講日の約1か月前を目途に通知をお送りします。経費納入方法等の手続きについては、受講決定通知書によりお知らせします。

事前課題

研修受講にあたって、事前課題に取り組んでいただく予定です。詳細は受講決定時にお知らせします。

問い合わせ先

公益財団法人 全国市町村研修財団 全国市町村国際文化研修所(JIAM) 教務部

〒520-0106 滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号 TEL.077-578-5932

[e-mail] kenshu@jiam.jp [ホームページ] <https://www.jiam.jp>

令和7年度 市町村議会議員研修[3日間コース]「地方財政制度の考え方と健全財政・災害」時間割

(敬称略)

日付	曜日	1時限 (9:25-10:35)	2時限 (10:50-12:00)	3時限 (13:00-14:10)	4時限 (14:25-15:35)	5時限 (15:50-17:00)	課外 (17:00-)
10/15	水	11:00-12:00 受付 11:30- 昼食 12:30- 開講式 開講オリエンテーション 入寮オリエンテーション		【事例紹介】 (13:00-15:15) 財政健全化における川西市の取り組み 兵庫県川西市 副市長 松木 茂弘		【意見交換】 (15:30-17:00)	17:30- 交流会
10/16	木	【講義】 (9:00-10:10) 地方財政制度の 考え方	【講義】 (10:25-11:35) 地方財政の よくある質問その1 社会保障給付増を交付 税は支え切れるか	【講義】 (12:35-13:45) 地方財政の よくある質問その2 経常収支比率は 80%が適切か	【講義】 (14:00-15:10) 地方財政の よくある質問その3 災害に備えて基金は どの程度必要か	【演習】 (15:25-16:35) ふりかえり	
総務省地方財政審議会 会長 小西 砂千夫							
10/17	金	【講義】 地方自治体の財政状況は どう見れば分かるのか 北海道大学 公共政策大学院 教授 今井 太志	【講義】 財政の視点から 災害対応を考える	12:00-12:15 閉講、事務連絡 ※「受講証明書」の再発行はできませんので紛失されないようご注意ください。			

◎日程及び教室等は都合により変更となる場合があります。

(令和7年9月4日現在)

担当

令和7年度 市町村議員研修 [3日間コース] JIAM

「地方財政制度の考え方と健全財政・災害」

新政会 遠藤利子

〈主催〉 全国市町村国際文化研修所

〈参加目的〉 財政指標を活用し、健全な自治体財政について学ぶ

〈研修期間〉 令和7年10月15日(水)～10月17日(金)

〈調査内容〉 令和7年度市町村議会議員研修

○地方財政制度の考え方と健全財政・災害

1日目 10月15日(水)

講義：財政健全化における川西市の取り組み、各自治体の意見交換

講師：川西市副市長 松木茂弘氏

2日目 10月16日(木)

講義：地方財政制度の考え方

地方財政のよくある質問その1, 2, 3

ふりかえり

講師：総務省「地方財政審議会」会長の小西佐千夫氏

3日目 10月17日(金)

講義：地方自治体の財政状況はどう見れば分かるのか

財政の視点から災害対応を考える

講師：北海道大学公共政策大学院 教授 今井太志氏

〈学びと感想〉

市議会議員として折り返し地点に立った現在、地方財政の考え方が自分の弱みになっていること、議会運営委員会を担う責任から参加致しました。全国から60名の参加者が集い、講義と共に同じ規模の市議会議員と意見交換を行いました。また、事前課題である財政指標の見方を学び、令和5年度の福島県及び郡山市の財政状況や基礎データを確認の基、研修に臨みました。

初日は、川西市副市長の松木茂弘氏の「財政健全化における川西市の取り組み」事例の健全化ポイントが紹介され、①財政状況の分析、②行政経営のマネジメント、③行政経営のPDCA、④財政運営のウィークポイントへのメスの入れ方、⑤新しい事業手法へのトライ等要点を学びました。特に行政経営マネジメントでは、財政運営のブレーキとアクセルの踏み方について、お金は貯めるだけではなく、必要な時は使うという財政の健全化において、重要であると知りました。

2日目、講師の小西氏は、地方交付税や地方譲与税など自治体の財源に関わる重要事項

を審議し、総務大臣に勧告する立場の方です。講義を目的に多くの議員が全国から集まり、現役市議会議員も参加しておりました。講義では、財源不足に陥る自治体は10年前3割程在り、皆切実な思いで参加していた。現在は1割程度で、殆どの自治体は大丈夫だが、寧ろお金を使わないことから、インフラの老朽化が進んでいるとの指摘がありました。モノやお金よりも、不足で深刻なのは「人」である。特に技術職やバスの運転手・医療従事者・介護職・保育士などは深刻で、「人材確保」が最大の課題であると強調しておりました。「金庫を開けろー災害時の判断力と地方財政の底力」で訴えたのは、災害時の対応についての首長決断！「命を守るために、躊躇せず、財源を使え！」の指示に対し、職員が「大丈夫です！」と応えたやり取りです。救命・救助に係る費用は、「災害対策費」「特別交付税」で、必ず国が支える仕組みになっており、自治体の金庫は空にしても、後で国が必ず補填する制度です。令和6年1月の能登半島地震では、空き家などの公費解体も含め、実際国が93%負担しました。発災直後は、市町村が基金を基に活動し、翌年には交付金が補填される。「迷わず動ける制度」を初めて知りました。

日頃の暮らしを支える「地方財政」ですが、国の支出の56%を担っています。ごみ処理、上下水道、公営住宅、保健所、道路整備等、生活に直結する殆どの行政サービスは自治体が担っております。財政の健全さは重要であります。必要な時に、迷わず使える判断力も同様に重要です。市民の代表である市議会議員として、学んだことを活かせる議員として、活動したいと改めて胸に刻みました。

3日目は「財政の視点から災害対応を考える」、2日目の講義で言い尽くされた感じがしますが、主に具体策の紹介です。「迷わず使え！」災害救助法が規定する応急処置であれば、法に基づき都道府県が負担する。市町村が実施したとしても都道府県に後から求償する！フローに沿って、避難所の設置から仮設住宅の供与、飲料水、医療・助産、福祉サービスの提供、学用品、埋葬等、災害救助法の運用（内閣府）について紹介されました。災害救助法が適用される段階や規模、また激甚災害についても紹介されました。

私にとって長いはずの3日間ですが、講義内容や講師の選定から、学びの多い時間となりました。また、全国から集まった議員同士のアフター懇親会により、互いに行政調査を希望する声も聞かれ、有意義な関係構築ができました。実際郡山市への行政調査希望もあり、私自身、違った角度から郡山市を見ることができました。今後さらに学びを深め、財政を含め、広い視野で物事が見える議員になることを再認識し研修を終えました。

支出明細書兼支出証明書

支出番号 11

区 分				※該当する区分に○印	費 目 名
1 調査研究費	② 研 修 費	3 広 報 費	4 広 聴 費		振込料 ※該当する支出費目を記入
5 要請・陳情活動費	6 会 議 費	7 資料作成費	8 資料購入費		
10 事務所費	11 通信運搬・自動車燃料費（郵便料等）				
支 出 目 的 （支出事由）	令和7年度市町村議員研修「3日間コース」				
	地方財政制度の考え方と健全財政・災害 負担金振込料				
内 容	研修負担金振込料				
	支 出 先		支 出 金 額		
2025年10月7日	(株) 東邦銀行郡山市役所支店		880 円		
上記のとおり支出します。					
議員氏名				遠藤 利子	



領収書及び料金内訳明細書等貼付欄

※複数の領収書等を貼る場合は、重ならないように貼付してください。
※欄内に貼付できない場合は、別記第11号様式「領収書等整理票」に貼付してください。

☐ 振込金受取書(兼振込手数料受取書)

☒ 預金払戻請求書・預金口座振替による振込受付書(兼手数料受取書)

ご指定日 7 年 10 月 7 日																					
金融機関名(漢字)を左づめてご記入ください(東邦銀行の場合は記入不要)										支店名(漢字)を左づめてご記入ください											
お振込先 滋賀 (○をおつけください) 信 金 信 組 農 協 その他 ☐ 東邦銀行										銀行 唐 崎										支出 張 所 店 所	
お受取人 預金種目 1. 普通 2. 当座 4. 貯蓄 9. その他 ☒ ☐ ☐ ☐ ☐		口座番号 右づめてご記入ください 4 6 1 1 5 8		金 額 十 億 億 千 万 百 万 十 万 万 千 百 十 円 1 1 0 0 0		消費税込手数料 8 8 0 円 部 度 後 納 ☒															
カタカナ サ イ セ シ ャ ャ シ ャ ャ ャ ャ ャ ャ ャ ャ ャ ャ シ ャ ャ ャ ャ ャ ャ ャ ャ ャ ャ		おなまえ(漢字) (公財) 全国市町村研修財団 全国市町村国際文化研修所										様									
カタカナ コ オ リ ヤ マ シ キ カ イ シ セ イ カ イ		おなまえ(漢字) 郡山市議会 新 政 会										様									
日中連絡できるお電話番号 携帯・自宅		郡山市朝日 17 目 23-7										株式会社 東邦銀行 登録番号 T9380001001018									
おところ		郡山市朝日 17 目 23-7										株式会社 東邦銀行 登録番号 T9380001001018									

税率	消費税額
10%	80

●振込先銀行へは、受取人名のほか預金種目・口座番号を通知します。
また、受取人名等をカナ文字により送信します。

●記載内容に不備があった場合は、照会等のために振込が遅延することがあり、場合によってはご入金できないこともあります。

●振込内容につき訂正・取消が生じた場合は、各種依頼書の提出および別途当行所定の手数料が必要となります。
この場合、振込手数料は返却いたしません。なお、場合によっては取消ができないこともあります。この場合、取消手続に関わる手数料は返却いたしません。

●通信機器、回線の障害等やむを得ない事由によって振込が遅延することがありますのでご了承ください。

支 出 調 書

会派名		新政会		代表者	経理責任者	起案者	
						福田 文子 	
区 分	事 由	費 目 ・ 金 額				小 計	
1 調 査 研 究 費		交通費		旅費			
		自動車燃料費		資料作成費			
		調査委託費		振込料			
2 研 修 費	議員の資質向上と議会運営の基本	会場費		講師謝金		29,960	
		出席者負担金・会費	20,000	交通費			
		旅費	9,960	自動車燃料費			
		資料作成費		食糧費			
		振込料					
3 広 報 費		会場費		交通費			
		自動車燃料費		資料作成費			
		広報誌（紙）		報告書等印刷費			
		送料（折込料含む）		ウェブページ掲載代			
		茶菓子代		振込料			
4 広 聴 費		会場費		交通費			
		自動車燃料費		資料作成費			
		茶菓子代		振込料			
5 要 請 ・ 陳 情 活 動 費		交通費		旅費			
		自動車燃料費		資料作成費			
		振込料					
6 会 議 費		会場費		交通費			
		自動車燃料費		資料作成費			
		振込料					
7 資 料 作 成 費		印刷製本費		翻訳料			
		筆耕料		振込料			
8 資 料 購 入 費		法規追録代		参考図書代			
		新聞（日刊紙）購読料		雑誌等購読料			
		有料データベース等利用料		振込料			
9 人 件 費		賃金		社会保険料等			
		振込料					
10 事 務 所 費		備品購入費		事務機器等リース代			
		消耗品等事務費		印刷代			
		振込料		配送手数料			
11 通 信 運 搬 ・ 自 動 車 燃 料 費		電話料等（按分）		郵便料等			
		自動車燃料費（按分）		その他			
支出年月日	2025年 10月 22日	現金出納簿 支出番号	12	合 計	29,960		

支出明細書兼支出証明書

支出番号 12

区 分				※該当する区分に○印	費 目 名
1 調査研究費	② 研 修 費	3 広 報 費	4 広 聴 費		出席者負担金・会費 ※該当する支出費目を記入
5 要請・陳情活動費	6 会 議 費	7 資料作成費	8 資料購入費		
10 事務所費	11 通信運搬・自動車燃料費（郵便料等）				
支 出 目 的 （支出事由）	自治体議会特別セミナー 受講料				
内 容	2025 年 10 月 22 日				
	議員の資質向上と議会運営の基本				
支 出 年 月 日	支 出 先			支 出 金 額	
2025 年 10 月 22 日	自治体議会研究所 代表 高沖秀宣			20, 0 0 0 円	
上記のとおり支出します。					
				議員氏名	福田文子



領収書及び料金内訳明細書等貼付欄

※複数の領収書等を貼る場合は、重ならないように貼付してください。
※欄内に貼付できない場合は、別記第11号様式「領収書等整理票」に貼付してください。

領 収 書 等 整 理 票

領 収 書

福田 文子 様

金 10,000 円

上記正に領収しました。
ただし、自治体議会特別セミナー受講料として。

令和7年 10月 22日

自治体議会研究所（三重県津市白山町二本木 545

代表

領 収 書

遠藤 利子 様

金 10,000 円

上記正に領収いたしました。
ただし、自治体議会特別セミナー受講料として。

令和7年 10月 22日

自治体議会研究所（三重県津市白山町二本木 545）

代表

新人からベテランまで

自治体議会特別セミナー in 福島

議員の資質向上と議会運営の基本

本セミナーは、地域を活性化させるために、二元代表制の下、日々尽力されている自治体議会議員と市民・議会事務局職員のための「学びの場」です。

特に新人議員等やる気のある議員が議会活動・議員活動を行う上で、特に重要な「議員の資質向上」と「議会運営の基本」について講義します。どうぞ郡山地域の自治体の新人議員等議会関係者の参加をお待ちしております。

(プログラム)

- 1 「二元代表制」における議会活動
- 2 議会運営の基本と通年制議会
- 3 一般質問と政務活動費の政策的活用
- 4 議員力・議会力の強化と政策提言・政策提案

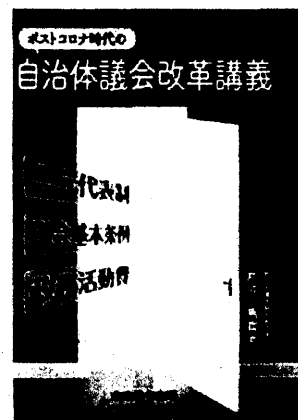
日 時	2025(令和7)年 10月22 日 (水) 13:30~16:00 (2 時間半) ※受付開始は13:00~
会 場	市男女共同参画センター大会議室 TEL 0245253784 福島市本町 2 番 6 号 ウイズ・もとまち2階

受講料 10,000 円(議員)、7,000 円(市民・職員)(当日払)
※テキスト代 2,500 円含む。

講師 自治体議会研究所 代表 **高沖秀宣**
(議会事務局研究会共同代表、元三重県議会事務局次長)
1953 年三重県生れ、京都大学法学部卒。2002 年 4 月から三重県議会事務局で、政策
法務監・政務調査課長・企画法務課長・総務課長・次長を歴任。
新著書『ポストコロナ時代の自治体議会改革講義』(改訂版、東京法令出版、2,500
円)をテキストに使用

申込方法 下記の mail(又は電話)にて、所属議会名、氏名、連絡先をお知らせください。
(参加申し込み者が少ない場合には、開催しないことがありますので要確認)

申込み・問合せ先 自治体議会研究所(三重県津市白山町二本木 545)(代表:高沖秀宣)
mail: soukon830@yahoo.co.jp、電話:090-4116-4501(9 時~19 時)



出張（調査等）申請書兼旅費請求書

支出番号 12

会 派 会 長 様

申請代表者氏名 福田文子



下記の用務により出張（調査等）したいので申請するとともに、旅費を請求いたします。

記

請求金額	9,960円 (一人あたり4,980円)	
	※別紙、旅費計算書のとおり	
目的	○10月22日 自治体議会特別セミナー 受講の為	
用務先	福島市本町2番6号 ウィズ・もとまち2階 福島市男女共同参画センター大会議室	
内容	議員の資質向上と議会運営の基本	
期間	2025年10月22日 ～ 2025年10月22日	
行程	別紙行程表のとおり	
出張(調査等)者氏名	福田文子	遠藤利子
特記事項		

上記のとおり出張（調査等）を許可します。

会派会長	経理責任者		受理日	2025年10月22日
			許可日	2025年10月22日
			支出日	2025年10月22日

上記金額を受領しました。

2025年10月22日

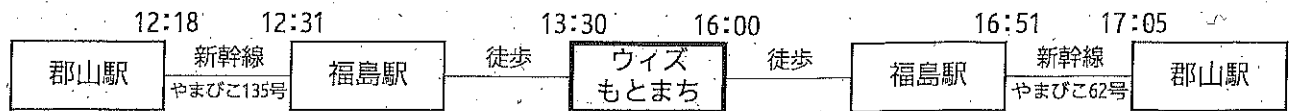
申請代表者氏名 福田文子



令和7年度 新政会 行政調査行程表

1 行程

□ 1日目：10月22日（水）



2 人員 2名

福田 文子 議員
遠藤 利子 議員

3 視察内容

1 令和7年10月22日（水）
○議員の資質向上と議会運営の基本

4 連絡先・会場

○自治体議会研究所
三重県津市白山町二本木545
Tel：090-4116-4501

○【会場】
福島市男女共同参画センター ウイズ・もとまち
福島市本町2-6

5 その他

行政調査旅費計算書

会派名 : 新政会
参加議員 : 福田 文子、遠藤 利子
日程 : 令和7年10月22日 (水)
行先 : 福島市男女共同参画センター ウィズ・もとまち (福島市本町2-6)

10月22日		郡山駅	新幹線 46.1	福島駅	新幹線 46.1	郡山駅										
運賃		860		860												1,720
急行料金		880		880												1,760
席種		自由席		自由席												0
実費																0

運賃																0
急行料金																0
席種																0
実費																0

交通費	3,480		3,480
日当	1,500 ×	1日 =	1,500
宿泊費	14,800 ×	=	0
合計		4,980 円	× 2名 = 9,960 円

出張（調査等）報告書兼旅費精算書

支出番号 12

会 派 会 長 様

下記のとおり出張（調査等）したので報告するとともに、受領した旅費を精算（返納）いたします。

出張（調査等）議員名

・遠藤利子		・福田文子	
・	印	・	印
・	印	・	印
・	印	・	印
・	印	・	印
・	印	・	印

記

期 間	2025 年 10 月 22 日 ～ 2025 年 10 月 22 日（泊 1 日）					
目 的	自治体議会特別セミナー受講の為					
用 務 先	福島市本町2番6号 ウィズ・もとまち2階					
	福島市男女共同参画センター大会議室					
行 程	別紙行程表のとおり					
内容及び成果	1「二元代表制」における議会活動 2議会運営の基本と通年制議会					
	3一般質問と政務活動費の政策的活用 4議員力・議会力の強化と政策提言					
旅 費 精 算	受領額	9960 円	精算額	9960 円	返納額	0 円

上記のとおり出張（調査等）の内容を確認するとともに、精算を受けました。

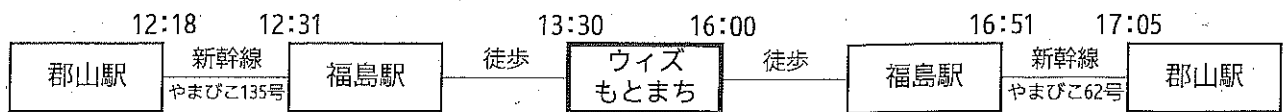
会 派 会 長	経理責任者		受 理 日	2025 年 10 月 23 日
			確 認 日	2025 年 10 月 23 日
			精 算 日	2025 年 10 月 23 日

※添付書類：行程表、調査等先説明資料、要請・陳情書（写）、調査等先の名刺、写真、成果報告書他

令和7年度 新政会 行政調査行程表

1 行程

□ 1日目：10月22日（水）



2 人員 2名

福田 文子 議員
遠藤 利子 議員

3 視察内容

1 令和7年10月22日（水）
○議員の資質向上と議会運営の基本

4 連絡先・会場

○自治体議会研究所
三重県津市白山町二本木545
Tel：090-4116-4501

○【会場】
福島市男女共同参画センター ウィズ・もとまち
福島市本町2-6

5 その他

行政調査旅費計算書

会派名 : 新政会
 参加議員 : 福田 文子、遠藤 利子
 日程 : 令和7年10月22日 (水)
 行先 : 福島市男女共同参画センター ウィズ・もとまち (福島市本町2-6)

10月22日

	郡山駅	新幹線 46.1	福島駅	新幹線 46.1	郡山駅												
運賃		860		860													1,720
急行料金		880		880													1,760
席種		自由席		自由席													0
実費																	0

運賃																	0
急行料金																	0
席種																	0
実費																	0

交通費	3,480		3,480	
日当	1,500 ×	1日 =	1,500	
宿泊費	14,800 ×	=	0	
合計			4,980 円	× 2名 = 9,960 円

2025 年 10 月 22 日 (火)

2025 年 新人議員特別セミナー in 福島

『議員の資質向上と議会運営の基本』

《改革の底辺から底辺の改革へ》

2002 年 4 月 三重県議会事務局

高沖 秀宣

開かれた議会という

自治体議会研究所

代表 高 沖 秀 宣

(事務所) 〒515-2602
三重県津市白山町二本木545
TEL: XXXXXXXXXX
FAX: XXXXXXXXXX
Mail: XXXXXXXXXX

自治体議会研究所

自治体議会特別セミナーin 福島

郡山市議会 遠藤利子

「議員の質向上と議会運営の基本」

《改革の底辺から底辺の改革へ》

日時 2025 年（令和 7 年）10 月 22 日（水）

会場 福島市男女共同参画センター大会議室

講師 自治体議会研究所 代表 高沖秀宜氏

議会事務局研究会共同代表 元三重県議会事務局次長

プログラム

1. 「二代表制」における議会活動
2. 議会運営の基本と通年議会
3. 一般質問と政務活動費の政策的活動
4. 議員力・議会力の強化と政策提言・政策提案

【議会の役割】

市長との関係における議会の役割は何かとの質問から始まり、議決機関と答えた議員に、それでは足りない指摘され、答えは「議事機関」であった。郡山市は、既に郡山市議会基本条例の第 1 章総則（目的）第 1 条に「合議制の議事機関である郡山市議会は・・」と変更されており、憲法・地方自治法においては以下の通りである。

憲法 第 93 条 議事機関として、議会を設置する→審議する、熟議する機関

地方自治法の一部を改正する法律（2023 年 5 月 8 日公布）第 89 条第 1 項に「議会は、議事機関」と明確に規定された。

【議事機関】について

議事機関は「議事としての審議・議決・議案提出を通じ、政策形成機能を担う。議員及び委員会の議案提出権、議案に対する修正の動機、専門的事項に係る調査、条例の制定改廃や予算の議決権等⇒議会の審議における政策提案等、地方分権が進展し、地方自治体の自己決定の領域が拡大する中、議会の政策形成機能の一層の発揮が求められる」とある。講師は、果たして議員が審議や熟議をしているか等、危惧していた。また、議会は、執行機関側の意見に対し、合議側の住民代表機関であるから、多様な民意の反映が求められており、議会はいかに「民意」を反映できているかが大きな課題である、と述べている。

【二代表制】について

二代表制における議会の役割だが、議会は、首長とは立場や役割が異なると捉え、二元代表制の意義を理解し、何をするための議会なのか、議会の存続意義は何か、果たし

て、「二元代表制」は機能しているのかを問うた。

【通年制議会】について

通年議会は、議員同士の議論を重視する点にその神髄がある。メリットは、①いつでも議会開催ができ、より慎重な議案審議・専門的調査が可能 ②委員会を必要に応じて開催でき、調査研究・議員間の活発化に期待できる ③市政に対する監査・政策立案機能の強化 ④市長や議員が必要に応じて議案提出可能 ⑤市長の専決処分を最小限に抑制できる、とある。*福島市は、「通年議会」を導入したが、果たして議会力が向上したか。

【政策提案の原点】

- ① 予算修正の手法について、事務局を巻き込む調査研究が必要。
- ② 一般（代表）質問から議会の政策提言へ（個人の提言で終わらせない）
- ③ 政策提言書作成のための「政策提言等に関するガイドライン」の必要性

【議員力・議会力の強化】

議会力：市長に対する監視機能を十分に果たし、政策立案（または提言）を議員会^間で共有し、市民のためのより良い政策とする力及び政策実現に向けた総合的活動。

議員力：地域の課題を把握し、解決のために調査し、政策を構想する能力・活動をいう。

【議会改革とは何か】

改革度を測る基準（視点）

- ① 制作力の強化 ②主権者の参画 ③議会機能の強化
- ② 福島県・議会改革度ランキング 2024 において、郡山市は、「制作力の強化」で 300 位以下、「主権者の参画」で 115 位、「議会機能の強化」で 99 位となっている。県内で比較的高い伊達市は 44 位、全国から見て福島県はランク外であった。今後、改革度を測る基準ガイドラインの作成と、議会の質向上に向けた取り組みは必須である。

【政務活動費の活用】について（地方自治法）第 100 条

政務活動費とは、議員の調査研究その他の活動に資するための必要な経費の一部として、会派または議員に対し、政務活動費を交付することができる。郡山市議会が、昨年度の政務活動費返還額は総額 1,600 万円である。必要な経費の一部とされる活動費をどのように活用するか、適切に活用するため、積極的かつ計画的な運用が必要と思われる。

【ポストコロナ時代の議会運営】

- (1) 多様性のある議会女性議員が立候補しやすい環境が必要である。

女性議員半数確保（東京 23 区、埼玉県（三芳町）、育児休憩の創設（群馬県東村）

- (2) オンラインによる委員会の開催

委員会条例（2023 年 2 月総務省通知）の一部改正により、災害の発生、感染症の蔓延防止措置対策として実施、育児介護等のやむを得ない理由にて⇒つくば市議会でも実施

郡山市議会ではどうであったか、総務省通知時期に、確認されなかった。

〈研修に参加しての感想〉

研修は、議会基本条例を基に「議員の資質向上と議会運営の基本」について、学びを得るために参加しました。ところが、講義が進むうちに、知識や理解が目的ではなく、自身の知識・理解不足を再認識したうえで、市民のニーズを吸い上げ、議員としての役割を果たしていくことであると認識しました。具体的には、今後学びをどのように活かし、議会にどのように働きかけ、成長させていくのかが問われる研修と理解しました。

講師の矢継ぎ早に来る質問にも慣れてくると、逆に質問もしやすくなり、現在担当している議運を活かし、議会をもっと活発に改革していくための示唆を得た気がします。さらに、「民意の声を反映し、自律的に活動する」ことが重要であり、今後の当議会の課題と捉えました。

講師は「令和6年度政務活動費会派別収支報告一覧表」や「議会改革度を測る基準」を使って、全国・県内でのデータを比較チェックし、我々に示しました。私自身が、学びをどのように活用し、議会を変革する・または進化させていくことができるのか、また、1年後のデータにどのような影響や成果が見せられるのか、講師だけでなく全国どこからでも見られる状態にあり、数値化できることは楽しみでもある。

おわりに、まだまだ、気づかない点が多いことに改めて気付かされた研修でしたが、学んだ成果を自分自身が納得できる形で示せるようになることを、今後の成果目標にしたいと考えました。

自治体議会特別セミナーin 福島

福田 文子

「議員の質向上と議会運営の基本」の講義に参加して

憲法 93 条及び地方自治法第 89 条 1 項に地方公共団体に設置される議事機関として議会を設置すると規定されている。議会は住民の代表機関であり、議決機関ともいわれるが、執行機関側の意見、多様な民意の反映が求められており、議会はいかに「民意」を反映できるかが大きな課題とされる。二元代表制における議会の役割や通年制議会を採用した市町村の様子をメリットと照らし合わせながら学ぶことができた。また、一般（代表）質問から議会の政策提言や政策提案へつなげるため、議会内で議論し、議員間の合意形成と市民への説明責任を図り、市政に反映させていくという方法も理解できた。しかしその為に議員力・議会力を強化する事は必要であり、政務活動費の活用にもつながる、ポストコロナ時代の議会運営①多様性のある議会②オンラインによる会議の開催③議会議員政治倫理条例についてなど、郡山市議会においても検討する時期ではないかと思う。

議会改革度を測る基準（例）早稲田デモクラシー創造研究所の調査観点 3 つの柱は、政策力の強化（新しい技術も活用しながら、政策形成・政策提言を議会として行う）・主権者の参画（住民の意見を反映させる仕組みの構築と実践）・議会機能の強化（事務局を含めた議会全体の機能強化）であり、心にとめて活動していきたい。

支 出 調 書

会派名		新政会		代表者	経理責任者	起案者	
						富樫 賢太郎 	
区 分	事 由	費 目 ・ 金 額				小 計	
1 調 査 研 究 費		交通費		旅費			
		自動車燃料費		資料作成費			
		調査委託費		振込料			
2 研 修 費		会場費		講師謝金			
		出席者負担金・会費		交通費			
		旅費		自動車燃料費			
		資料作成費		食糧費			
		振込料					
3 広 報 費	会報34号作成・新聞折込料 (2025年10月26日発行)	会場費		交通費		876,595	
		自動車燃料費		資料作成費			
		広報誌 (紙)	534,600	報告書等印刷費			
		送料 (折込料含む)	341,995	ウェブページ掲載代			
		茶菓子代		振込料			
4 広 聴 費		会場費		交通費			
		自動車燃料費		資料作成費			
		茶菓子代		振込料			
5 要 請 ・ 陳 情 活 動 費		交通費		旅費			
		自動車燃料費		資料作成費			
		振込料					
6 会 議 費		会場費		交通費			
		自動車燃料費		資料作成費			
		振込料					
7 資 料 作 成 費		印刷製本費		翻訳料			
		筆耕料		振込料			
8 資 料 購 入 費		法規追録代		参考図書代			
		新聞 (日刊紙) 購読料		雑誌等購読料			
		有料データベース等利用料		振込料			
9 人 件 費		賃金		社会保険料等			
		振込料					
10 事 務 所 費		備品購入費		事務機器等リース代			
		消耗品等事務費		印刷代			
		振込料		配送手数料			
11 通 信 運 搬 ・ 自 動 車 燃 料 費		電話料等 (按分)		郵便料等			
		自動車燃料費 (按分)		その他			
支出年月日	2025年 10月 27日	現金出納簿 支出番号	13	合 計	876,595		

支出明細書兼支出証明書

支出番号 13

区 分				※該当する区分に○印	費 目 名
1 調査研究費	2 研 修 費	③ 広 報 費	4 広 聴 費		広報誌(紙) ※該当する支出費目を記入
5 要請・陳情活動費	6 会 議 費	7 資料作成費	8 資料購入費		
10 事務所費	11 通信運搬・自動車燃料費(郵便料等)				
支 出 目 的 (支出事由)	会派の活動内容を広く市民に伝える会派広報誌(34号)				
内 容	レイアウト、データ制作及び印刷料 66,450 枚				
	印刷代 486,000 円 + 消費税 48,600 円 = 534,600 円				
支 出 年 月 日	支 出 先			支 出 金 額	
2025 年 10 月 27 日	株式会社 デザインライフ			534,600 円	
上記のとおり支出します。					
議員氏名				共通	㊞

領収書及び料金内訳明細書等貼付欄

№ 000226

領 収 証

令和 7 年 10 月 27 日

新政会様

金額 ¥534,600- 円也



販促&広告全般の企画制作・実施管理

(株)デザインライフ

代表取締役 武田 学

〒963-8023 郡山市緑町10-17
TEL 024(923)5555・FAX(923)5573

会報34号レイアウト、データ制作及び印刷料

内訳: 取扱価格 ¥486,000- 消費税(10%) ¥48,600-



現金

小切手

銀行振込

受取手形

相殺

係印

上記の金額領収いたしました。

※複数枚の領収書等を貼る場合は、重ならないように貼付してください。

※欄内に貼付できない場合は、別記第11号様式「領収書等整理票」に貼付してください。

領 収 書 等 整 理 票

領収書及び料金内訳明細書等貼付欄

請 求 書

963-8024

郡山市朝日一丁目23-7

郡山市市議会事務局総務課内

新 政 会 御 中

令和7年10月26日

No.10268

株式会社 デザインライフ

(登録番号:T8380001005853)

963-8023 郡山市緑町10-17

TEL:024-923-5555

FAX:024-923-5573

お客様コードNo. 4

担当:

下記の通りご請求申し上げます。

品 番	品 名	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	会報34号制作、折込					
8	レイアウト、データ制作及び印刷料 (事務所納品分300枚含む)	66,450	枚	0.00	10% 486,000	
8	令和7年10月26日新聞折込料 (郡山市内全域、全紙折込)	66,150	枚	4.50	10% 297,675	
摘要:		合計	税 抜	税 額	税 別	次ページへ

請 求 書

963-8024

郡山市朝日一丁目23-7

郡山市市議会事務局総務課内

新 政 会 御 中

令和7年10月26日

No.10268

株式会社 デザインライフ

(登録番号:T8380001005853)

963-8023 郡山市緑町10-17

TEL:024-923-5555

FAX:024-923-5573

お客様コードNo. 4

担当:

下記の通りご請求申し上げます。

品 番	品 名	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
8	配送料金	66,150	枚	0.20	10% 13,230	
	※B3版、4/4C、コート紙B巻53kg、 オフ輪印刷					
【 本体金額 10% (税抜分) 】					796,905	消費税額 79,690円
摘要:		合計	税 抜	税 額	税 別	
				796,905	79,690	876,595

※複数の領収書等を貼る場合は、重ならないように貼付してください。

御見積書

1頁

令和 7年 10月 7日

見積No. 3773A

新 政 会

御中

株式会社 デザイン



963-8023

郡山市緑町10-17

TEL:024-923-5555 FAX:024-923-5573

担当者: [REDACTED]

下記の通り御見積り申し上げます。

納入期日: 年 月 日
納入場所:
取引方法:
有効期限: 年 月 日

合 計 金 額

¥876,595

内 容 ・ 仕 様	数 量	単 位	単 価	金 額
会報34号制作、折込				
レイアウト、データ制作及び印刷料	66,450	枚		486,000
(事務所納品分300枚含む)				
令和7年10月26日新聞折込料	66,150	枚	4.50	297,675
(郡山市内全域、全紙折込)				
配送料金	66,150	枚	0.20	13,230
※B3版、4/4C、コート紙B巻53kg、				
オフ輪印刷				
【 本体金額 10% (税抜分) 】				合計金額 (消費税額) 796,905 (79,690)
合 計				

広報誌の按分（印刷料分）

広報誌全体と対象外面積で按分する。

1 広報誌全体面積

$$382 \text{ mm} \times 273 \text{ mm} \times 4 \text{ 面} = 417144 \text{ mm}^2 \cdots i$$

2 対象外面積

①	$\text{mm}^2 \times$	$\text{mm}^2 =$	mm^2
②	$\text{mm}^2 \times$	$\text{mm}^2 =$	mm^2
③	$\text{mm}^2 \times$	$\text{mm}^2 =$	mm^2
④	$\text{mm}^2 \times$	$\text{mm}^2 =$	mm^2
⑤	$\text{mm}^2 \times$	$\text{mm}^2 =$	mm^2
小 計			$0 \text{ mm}^2 \cdots ii$

3 按分割合

$$ii \div i = \times 100 = \text{対象外按分率} \quad 0 \%$$

4 対象経費算出

$$\text{支出額 } 534,600 \text{ 円} \times \text{対象外按分率} \quad 0 \% = 0 \text{ 円} \cdots iii$$

(1 円以下切り上げ)

$$\text{支出額 } 534,600 \text{ 円} - iii = \underline{\text{対象経費 } 534,600 \text{ 円}}$$



郡山市議会

新政会

だより

34

令和7年郡山市議会 9月定例会報告

9月定例会の概要

令和7年度郡山市議会9月定例会は、9月3日に開会し10月1日までの29日間にわたり開催されました。定例会初日に市長から、「国の政策動向を注視し、時機を逸することなく市民生活、地域経済に即応できるよう、私自ら中央省庁4省庁8部局に対し要望を行ってきた。引き続き迅速な情報収集及び分析を基に、適切な対応に努める。」旨の表明がありました。

補正予算の概要は、当初予算編成方針等を継承しつつ、「選ばれるまち」、「新たな行政課題や需要への対応」の2項目に整理し、住んでみたい、住み続けたいと思えるまちづくりを推進するため、時宜を捉え今必要な予算編成として、一般会計50億7,691万6千円、特別会計7億4,603万1千円が計上され、これら予算議案のほか、条例議案等が上程され、原案通り可決されました。

また、本定例会は、市議任期4年の折り返しの時期を

迎えることから、正副議長・監査委員・各常任委員会正副委員長の人事を決める定例会でありました。

議長選挙には、新政会から折笠正会長を推薦しましたが、15票で次点となり惜敗しました。議長には近利男議員が、副議長には諸越裕議員が就任いたしました。

新政会からは、監査委員に廣田耕一、建設環境常任委員会委員長に會田一男、総務財政常任委員会副委員長に福田文子、議会運営委員会副委員長に遠藤利子の各議員が選出されました。

また、新政会会長には石川義和議員が就任いたしました。

石川義和会長は「新政会議員一同は、市民の福祉の増進に取り組み、心の豊かさが実感でき、本市に住んでよかったまちづくりに努める」ことを明らかにしました。

新政会議員紹介(連絡先) ご意見をお気軽にお寄せください



顧問(4期)

廣田 耕一

生活福祉常任委員会
郡山市監査委員
日和田町字南原2-111
☎・FAX 024-958-1101



会長(4期)

石川 義和

建設環境常任委員会
台新2-4-11
☎・FAX 024-953-6062



副会長(3期)

折笠 正

総務財政常任委員会
田村町下道渡字坂ノ下65
☎・FAX 024-955-3913



(4期) 栗原 晃

文教経済常任委員会
議会運営委員会
亀田1-24-11
☎ 024-938-4151
FAX 024-924-0141



(3期) 良田 金次郎

生活福祉常任委員会
湖南町赤津字南町4172
☎ 024-983-2914
FAX 024-953-2088



幹事長(3期)

會田 一男

建設環境常任委員会(委員長)
議会運営委員会
郡山地方広域消防組合議員
西田町木村字池ノ上18
☎・FAX 024-983-9957



(2期) 福田 文子

総務財政常任委員会(副委員長)
郡山地方広域消防組合議員
堂前町6-5
☎ 024-922-1313
FAX 024-922-8312



(1期) 遠藤 利子

議会運営委員会(副委員長)
生活福祉常任委員会
広聴広報委員会
都市計画審議会
喜久田町早稲原字明神路26
☎・FAX 024-958-4262



(1期) 富樫 賢太郎

文教経済常任委員会
郡山地方広域消防組合議員
富久山町久保田字
大久保76-1たんばC202
☎・FAX 024-911-9224

6月定例会の主な「1」

代表質問

質問者：折笠 正 議員

◀実際の映像も
ご覧になれます

「明日への責任3つの約束」について

Q 市長選出馬に際し表明した3つの約束を今後どのように取り組む考えなのか伺う。

A 1つ目は郡山駅西口の交通渋滞対策や、旧豊田貯水池跡地等の地域資源の活用を通じ、住む人が誇りをもち、訪れる人に感動してもらえるまちを目指していく。

2つ目は子育て世帯への支援、障がいのある人々への包括的支援、高齢者の移動手段の確保や、防災体制の維持等、社会基盤を構築していく。

3つ目は、地元企業への支援、医療機関の機能強化、農業の担い手育成やブランド化支援等を通じて経済基盤の強化を図っていく。

「(仮称)6次産業化・農商工等連携推進計画」について

Q 農商工部が本年度策定する、当該計画の基本方針と今後どう発展させていくのか。

A 策定予定の計画においては、食と農に関わる地域経済の持続的な発展を見据え、地域内外の多様な関係者が参画するプラットフォームの構築と、食の新たなイノベーションを誘発する、地域一体となった面的な取り組みを推進する。併せて商工会議所等との連携を強化し、事業者の掘り起こしを行うほか、生産者と商工業者や飲食店等とのマッチングを進め、本市農産物の付加価値向上と国内外への販路拡大を支援していく。

【その他の質問】 ● 教育問題について ● 事業承継について ● 相統土地国庫帰属制度について
● 道路の維持管理について ● 樹木の安全管理について ● 汚水中継機能改築について

一般質問

質問者：會田 郡山市東

Q 火葬炉の運用について伺う。

A 1日の火葬上限数を18件と設定し、9月で13日、10～3月は75日だった火葬上限数を引き上げるには火葬炉の施設面の課題、火葬委託業者の確保、耐用年数短縮の可能性も考慮する必要あり。令和5年12月に策定した施設長寿命証し火葬件数の増加にも対応した施設

Q 施設改修等について伺う。

A 供用開始から34年が経過した施設。郡山市公共施設等総合管理計画個別計画の方向性を検討し、郡山市公有資産活用調整委員会を策定した。躯体改造は行わず、増設により混雑緩和に努めるとともに、式化などの改修により、耐用年数を築後

【その他の質問】 ● 通学路安全対策事業について ● 敬老の日の記念品について

9月定例会の

一般質問

質問者：石川 義和 議員

◀実際の映像も
ご覧になれます

市民を望まない受動喫煙から護るために分煙施設等の整備を

Q 本市の公共施設には、体育館、開成山公園、文化センター等多くの施設がある。また、うねめまつりなどの人出が多くなるようなイベント等においては、市民が望まない受動喫煙にさらされている。本市も特別交付税を積極的に活用し、駅前・商店街・公園等における公共施設等に分煙施設を設け、自治体の責務を果たすべきと考えるが見解は。

A 今後における分煙施設等の設置については、周囲での健康被害を完全に防ぎきれない可能性があることから、高齢者や妊婦、お子様など、多くの市民の方が利用される公共施設への導入は考えていない。

安積永盛駅舎等の整備について

Q 人口減少が加速する中、各自治体は、自らの自治体への移住促進に取り組んでいる。地域の方、日本大学はじめ各学校に通う利用者の方がバリアフリーにより、安全安心に移動でき、また訪れたい駅にすることが、地域の再開発につながり、結果的に魅力ある郡山の実現につながるが、現段階でのJR東日本との進捗状況は、また、今後どのように整備していくのか。

A 安積永盛駅舎の整備については、JR東日本と継続的に協議を進めている。当駅の整備はバリアフリー化等利便性の高い交通ネットワーク形成の実現を目指しており、今後も地域発展に資する整備となるよう引き続きJR東日本と協議を行っていく。

【その他の質問】 ● 外国人との共生を目指して

一般質問

質問者：福田

こおりやま広域圏の

Q 17市町村約60万人の生活を強いリーダ市長におきましては、こおりやま広域圏の今

A 平成26年に制定した「連携中枢都市圏社会においても一定の圏域人口を有し、成すること」が示されている。圏域におけるシッブを発揮しながら、「広め合う、高め合う」活かした効果的な連携事業を展開し、圏域の活力ある圏域づくりを進めていく。

手話施策推進法を踏ま

Q 本年6月25日に、手話施策推進法が施行に関する施策をどのように推進していくか

A 平成27年4月1日に「手話言語条例」を定める郡山市においては、手話を使用する者を尊重し、共生社会の実現を図るという点。策推進法は強力な後押しになるものと認識。今後も法及び条例の趣旨を踏まえ、手話を使いやすい環境づくりを推進し、すべての市民が共生社会の実現に努める。

【その他の質問】 ● 子どもへの性暴力対策について

質問、一般質問

議員



◀実際の映像も
ご覧になれます

について

ちで、上限に達したのは昨年の4～
する待合室、お別れ室、収骨室など
負担の課題、火葬炉の故障リスクと
実施に合わせ最適な運用状況を検
指す。

こ、から、平成30年3月に策定した郡
き、成30年度から施設の在り方、方
審議を経て令和5年12月に施設長寿
設備の更新による機能向上や、待合室
調、炉前ホール天井及び待合室の洋
・2071年まで伸ばす計画としている。
タクシーについて ●人口問題について

一般質問

質問者：栗原 晃 議員



◀実際の映像も
ご覧になれます

学校給食の安全性について

Q オーガニック給食への取り組みを始める考えはあるのか。

A 学校給食は、児童生徒の心身の健全な発達に資するものであり、本市においても、学校給食衛生管理基準等に基づいて、鮮度の良い衛生的な食材を購入し、安全・安心な給食を安定的に提供している。オーガニックは有機と同義で、有機農産物の日本農林規格(有機JAS規格)の基準に従って生産された農産物と定義されており、有機農産物が質が良く、安価で必要量を安定的に供給できるのであれば、学校給食での使用を検討する。

【その他の質問】●内部統制制度について ●障がい者福祉施設について

●「ウェルビーイング都市実現型」課題発見・解決先進都市の創生について ●観光の振興について

令和6年度 決算概要

一般会計・公営企業4会計を
含む28特別会計

令和6年度決算特別委員会は、令和7年9月26日から10月1日までの実質4日間にわたり決算認定等議案29件について審査し、全会一致で承認されました。決算の概要は次の通りです。一般会計の決算額は歳入が1,607億8,817万円、歳出は1,543億5,494万円で、翌年度への繰越充当財源を差し引いた実質収支は61億6,219万円の黒字決算となっており、公営企業を除く24の特別会計についても黒字決算となっております。一方、財政健全化判断比率は、一般会計の赤字額の割合を示す実質赤字比率及び連結実質赤字比率に赤字額はなく、公債費による財政負担の程度を示す実質公債費比率や、借入金に加え、将来にわたる市財政への負担の大きさを示す将来負担比率についても、健全な状態にあります。また、資金不足もなく良好な状態であります。

な「一般質問」

議員



◀実際の映像も
ご覧になれます

展望について

導いて頂きたいと切に願っているが、椎根
て ような展望をお持ちなのか伺う。

主要綱において、「人口減少・少子高齢
社会経済を維持するための拠点を形
成の拠点として期待されるリーダー
」の合言葉のもと、各市町村の強みを
が安心して快適に暮らし続けられる、

後の展望について

。これを踏まえ、郡山市として手話言語



一般質問

質問者：遠藤 利子 議員



◀実際の映像も
ご覧になれます

「人生会議」わたしの未来ノートについて

Q 人生会議(ACP)は、もしもの時のために自分が望む医療やケアについて前もって考え、事前に信頼できる人と話し合い、共有する取り組みです。本人にとって大切な一冊となる未来ノートを自分事として考える必要がある。今後の活用について問う。

A 人生会議(ACP)の活用により、万が一の場合に本人が希望する医療やケアを受けられる可能性が高まり、家族の精神的負担の軽減や円滑な医療連携にも繋がる。現在、在宅医療・介護連携支援センターにおいて、「わたしの未来ノート」の増刷に向けた作業を進めている。市民向け研修会や医療・介護等の専門職を対象に、それぞれの活用を考える機会を設け、市民一人ひとりにとって大切な一冊となるよう、効果的な活用の検討と、周知啓発、内容の充実を図っていく。

性に関する正しい知識の普及と支援体制について

Q 男女ともに、性に関する正しい知識を得ることは、性犯罪やDVから身を守るだけでなく、子どもを望む方が安心して出産できるなどの波及効果もあると考える。中学生の性の教育に関する現状について問う。

A 各学校において、保健の授業を中心に学校教育全体で二次性徴や生命の連続性、異性の尊重、性との向き合い方、性感染症とその予防、性被害の防止など指導をしている。SNSに関しては情報モラル教室を、性に関する危険回避の方法などについては防犯教室を開催し体験的な学習を実施している。また養護教諭や学級担任等への指導を含む様々な研修を実施している。更に、医師会・助産師会の協力の下、産婦人科医等が全ての中学校等に出向き、指導している。

【その他の質問】●5歳児健診について ●民生委員について ●禁煙及び受動喫煙防止に関する取組みについて

常任委員会報告

本年9月定例会より、行政組織改編に伴い常任委員会の所管部局が変更となり、文教経済・建設環境・生活福祉・総務財政の4つの常任委員会となりました。各委員会の審議内容とPDCAサイクル事業(事業進捗報告と評価)について報告します。

文教経済

栗原 晃、富樫 賢太郎

文化スポーツ観光部、農商工部、農業委員会、教育委員会が所管部局となり、委員会に付託された議案の主なものは、「効果的な企業誘致に向けた動向調査の実施」「トマト黄化葉巻病への緊急対策」等であり、原案の通り可決されました。

PDCAサイクル事業は、農商工(福)融合により、タイパ・コスパをアップし、更なる輸出促進を図る「輸出促進・マーケット開拓事業」を選定しました。

生活福祉

廣田 耕一、良田 金次郎、遠藤 利子

市民部、保健福祉部、子ども部が所管部局となり、当委員会付託分の補正予算、条例議案等については、原案の通り可決されました。請願については、「不安な未来を希望に変えるため、郡山市への制度創設を求める請願書」について可否同数となり、委員長裁決の結果採択すべきとなりました。

PDCAサイクル事業は、「子ども誰でも通園制度」と「ベップキッズこおりやまWEB予約システム導入」を選定しました。

建設環境

會田 一男、石川 義和

上下水道部、建設構想部、都市構想部、環境部が所管部局となり、議案の主なものは、安全で円滑な道路環境の整備事業、道路台帳を窓口交付からウェブサイト公開に移行してペーパーレス等を推進し、市民サービスの向上と業務の効率化を図るための「郡山市手数料条例の一部改正」のほか、東山悠苑の冬季間(12月～3月)の1日当たり火葬対応件数を18件から20件に拡充するために要する経費等、その他議案すべてが原案のとおり可決されました。

PDCAサイクル事業は、「郡山駅西口ロータリーの改修等、駅周辺の混雑対策事業」を選定しました。

総務財政

折笠 正、福田 文子

財務部、総務部、税務部、政策開発部、会計管理者、公平委員会、選挙管理委員会、監査委員、固定資産評価審査委員会が所管部局となり、付託議案について原案通り可決されました。請願については、「軍事予算削減と核兵器禁止条約の署名を求める意見書提出の請願書」、「消費税率5%以下への削減を求める意見書」、「適格請求書等保存方式(インボイス制度)廃止を求める意見書」それぞれを政府に送付することを求める請願書について、賛成少数で不採択すべきとなりました。

PDCAサイクル事業は「公共施設総合管理計画及び個別施設計画の見直し」を選定しました。

決算特別委員会における現地調査

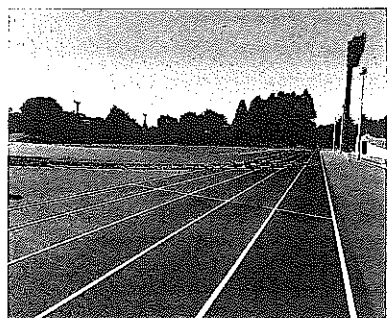
●石塚樋門・ポンプゲート整備事業(9月29日)

ゲリラ豪雨や台風などにより浸水被害が発生している郡山中央工業団地の被害軽減を図るため、令和7年度の完工に向け整備が進められています。



●開成山体育施設整備事業(9月30日)

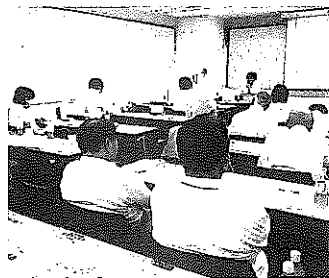
施設の老朽化、各種プロスポーツの開催、スポーツコンベンション等地域活性化への期待等により、民間の資金及びノウハウを活用したPFI事業により整備されました。



新政会行政調査

●地方議会研修会主催「公共施設特別講座」(7月24日)

公共施設の長寿命化・老朽化問題をはじめとした基礎知識の習得、学校の老朽化とこどもの人口減を踏まえた統廃合の考え方について、様々な自治体の事例紹介も交えて学習することができました。



編集後記

猛暑であった夏も彼岸を過ぎたころから秋の気配が感じられるようになりました。稲の刈り取りも進んでおり、米価がどうなるか気になるところです。9月定例会も、当局提案議案はすべて可決され、また令和6年度の決算議案についても承認されました。世界を見渡せばロシアによるウクライナへの侵攻、イスラエルとハマスの紛争など、日本にも大きな影響があり大変心配です。(會田)

ご意見をお気軽にお寄せください
☎(024)924-2507 fax(024)924-0141

虚礼廃止について

公職選挙法により署名中見舞など、時候の挨拶状が禁じられております。市民の皆様には、趣旨をご理解いただきご協力を賜りますようお願いいたします。



この印刷物は、環境にやさしい植物油インキで印刷しています。

支出明細書兼支出証明書

支出番号 13

区 分				※該当する区分に○印	費 目 名
1 調査研究費	2 研 修 費	③ 広 報 費	4 広 聴 費		送料(折込料含む) ※該当する支出費目を記入
5 要請・陳情活動費	6 会 議 費	7 資料作成費	8 資料購入費		
10 事 務 所 費	11 通信運搬・自動車燃料費(郵便料等)				
支 出 目 的 (支出事由)	会派の活動内容を広く市民に伝える会派広報誌(34号)				
内 容	会派広報誌の新聞折込料 66,150 枚				
	折込料 66,150 枚×4.5 円=297,675 円、配送料 66,150 枚×0.2 円=13,230 円				
	297,675 円+13,230 円+消費税 31,654=341,995 円				
支 出 年 月 日	支 出 先			支 出 金 額	
2025 年 10 月 27 日	株式会社 デザインライフ			341,995 円	
上記のとおり支出します。					
				議員氏名	共通 ㊞

領収書及び料金内訳明細書等貼付欄

№ 000227

領 収 証

令和 7 年 10 月 27 日

新政会様

金額 ￥341,995- 円也


DESIGN LIFE
 (株)デザインライフ

代表取締役 武田 学

〒963-8023 郡山市緑町10-17
TEL 024(923)5555・FAX(923)5573

会報34号 令和7年10月26日 新聞折込料、配送料

内訳: 取扱価格 ￥310,905- 消費税(10%) ￥31,090-

現金

小切手

銀行振込

受取手形

相殺

係印

上記の金額領収いたしました。

※複数領収書を貼る場合は、重ならないように貼付してください。

※欄内に貼付できない場合は、別記第11号様式「領収書等整理票」に貼付してください。

領 収 書 等 整 理 票

領収書及び料金内訳明細書等貼付欄

請 求 書

963-8024
郡山市朝日一丁目23-7
郡山市市議会事務局総務課内
新 政 会 御中

令和7年10月26日 No.10268
株式会社 デザインライフ (登録番号:T8380001005853)
963-8023 郡山市緑町10-17
TEL:024-923-5555 FAX:024-923-5573

お客様コードNo. 4

担当: 武田 学

下記の通りご請求申し上げます。

品 番	品 名	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
8	会報34号制作、折込					
	レイアウト、データ制作及び印刷料	66,450	枚	0.00	10% 486,000	
	(事務所納品分300枚含む)					
8	令和7年10月26日新聞折込料	66,150	枚	4.50	10% 297,675	
	(郡山市内全域、全紙折込)					
摘要:		合計	税 抜	税 額		次ページへ

請 求 書

963-8024
郡山市朝日一丁目23-7
郡山市市議会事務局総務課内
新 政 会 御中

令和7年10月26日 No.10268
株式会社 デザインライフ (登録番号:T8380001005853)
963-8023 郡山市緑町10-17
TEL:024-923-5555 FAX:024-923-5573

お客様コードNo. 4

担当: 武田 学

下記の通りご請求申し上げます。

品 番	品 名	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
8	配送料金	66,150	枚	0.20	10% 13,230	
	※B3版、4/4C、コート紙B巻53kg、					
	オフ輪印刷					
	【 本体金額 10% (税抜分) 】				796,905	消費税額 79,690円
摘要:		合計	税 抜	税 額	796,905 79,690	876,595

※複数の領収書等を貼る場合は、重ならないように貼付してください。

御見積書

1頁

令和 7年 10月 7日

見積No. 3773A

新 政 会

御中

下記の通り御見積り申し上げます。

納入期日： 年 月 日
納入場所：
取引方法：
有効期限： 年 月 日

株式会社 デザイン



963-8023
郡山市緑町10-17

TEL:024-923-5555 FAX:024-923-5573
担当者：武田 学

合 計 金 額

¥876, 595

内 容 仕 様	数 量	単 位	単 価	金 額
会報34号制作、折込				
レイアウト、データ制作及び印刷料	66,450	枚		486,000
(事務所納品分300枚含む)				
令和7年10月26日新聞折込料	66,150	枚	4.50	297,675
(郡山市内全域、全紙折込)				
配送料金	66,150	枚	0.20	13,230
※B3版、4/4C、コート紙B巻53kg、				
オフ輪印刷				
【 本体金額 10% (税抜分) 】				合計金額 (消費税額) 796,905 (79,690)
合 計				

広報誌の按分（折込・配送料分）

広報誌全体と対象外面積で按分する。

1 広報誌全体面積

$$382 \text{ mm} \times 273 \text{ mm} \times 4 \text{ 面} = 417144 \text{ mm}^2 \cdots i$$

2 対象外面積

①	mm^2	$\times$		mm^2	$=$	mm^2
②	mm^2	$\times$		mm^2	$=$	mm^2
③	mm^2	$\times$		mm^2	$=$	mm^2
④	mm^2	$\times$		mm^2	$=$	mm^2
⑤	mm^2	$\times$		mm^2	$=$	mm^2
	小		計			$0 \text{ mm}^2 \cdots ii$

3 按分割合

$$ii \div i = \times 100 = \text{対象外按分率 } 0 \%$$

4 対象経費算出

$$\text{支出額 } 341,995 \text{ 円} \times \text{対象外按分率 } 0 \% = 0 \text{ 円} \cdots iii$$

(1 円以下切り上げ)

$$\text{支出額 } 341,995 \text{ 円} - iii = \underline{\text{対象経費 } 341,995 \text{ 円}}$$

新政会

郡山市議会 だより VOL. 34

令和7年 郡山市議会 9月定例会報告

9月定例会の概要

令和7年度郡山市議会9月定例会は、9月3日に開会し10月1日までの29日間にわたり開催されました。定例会初日に市長から、「国の政策動向を注視し、時機を逸することなく市民生活、地域経済に即応できるよう、私自ら中央省庁4省庁8部局に対し要望を行ってきた。引き続き迅速な情報収集及び分析を基に、適切な対応に努める。」旨の表明がありました。

補正予算の概要は、当初予算編成方針等を継承しつつ、「選ばれるまち」、「新たな行政課題や需要への対応」の2項目に整理し、住んでみたい、住み続けたいと思えるまちづくりを推進するため、時宜を捉え今必要な予算編成として、一般会計50億7,691万6千円、特別会計7億4,603万1千円が計上され、これら予算議案のほか、条例議案等が上程され、原案通り可決されました。

また、本定例会は、市議任期4年の折り返しの時期を

迎えることから、正副議長・監査委員・各常任委員会正副委員長の人事を決める定例会でありました。

議長選挙には、新政会から折笠正会長を推薦しましたが、15票で次点となり惜敗しました。議長には近内利男議員が、副議長には諸越裕議員が就任いたしました。

新政会からは、監査委員に廣田耕一、建設環境常任委員会委員長に會田一男、総務財政常任委員会副委員長に福田文子、議会運営委員会副委員長に遠藤利子の各議員が選出されました。

また、新政会会長には石川義和議員が就任いたしました。

石川義和会長は「新政会議員一同は、市民の福祉の増進に取り組み、心の豊かさが実感でき、本市に住んでよかったまちづくりに努める」ことを明らかにしました。

新政会議員紹介(連絡先) ご意見をお気軽にお寄せください



廣田 耕一

生活福祉常任委員会
郡山市監査委員
日和田町字南原2-111
☎・FAX 024-958-1101



石川 義和

建設環境常任委員会
会新2-4-11
☎・FAX 024-953-6062



折笠 正

総務財政常任委員会
田村町下波字坂ノ下65
☎・FAX 024-955-3913



原 晃

文教経済常任委員会
議会運営委員会
龜田1-24-11
☎ 024-938-4151
FAX 024-924-0141



良田 全次郎

生活福祉常任委員会
湖南町赤津字南町4172
☎ 024-983-2914
FAX 024-953-2088



會田 一男

建設環境常任委員会(委員長)
議会運営委員会
郡山地方広域消防組合議員
西田町木村字池ノ上18
☎・FAX 024-983-9957



福田 文子

総務財政常任委員会(副委員長)
郡山地方広域消防組合議員
☎ FAX



遠藤 利子

議会運営委員会(副委員長)
生活福祉常任委員会
広聴広報委員会
都市計画審議会
喜久田町早福原字明神殿26
☎・FAX 024-958-4262



富樫 賢太郎

文教経済常任委員会
郡山地方広域消防組合議員
富久山町久保田字
大久保76-1たんぼC202
☎・FAX 024-911-9224

6月定例会の主な「

代表質問

質問者：折笠 正 議員



←実際の映像も
ご覧になれます

「明日への責任3つの約束」について

Q 市長選出馬に際し表明した3つの約束を今後どのように取り組む考えなのか伺う。

A 1つ目は郡山駅西口の交通渋滞対策や、旧豊田貯水池跡地等の地域資源の利活用を通じ、住む人が誇りを持ち、訪れる人に感動してもらえるまちを目指していく。
2つ目は子育て世帯への支援、障がいのある人々への包括的支援、高齢者の移動手段の確保や、防災体制の維持等、社会基盤を構築していく。
3つ目は、地元企業への支援、医療機関の機能強化、農業の担い手育成やブランド化支援等を通じて経済基盤の強化を図っていく。

「(仮称)6次産業化・農商工等連携推進計画」について

Q 農商工部が本年度策定する、当該計画の基本方針と今後どう発展させていくのか。

A 策定予定の計画においては、食と農に関わる地域経済の持続的な発展を見据え、地域内外の多様な関係者が参画するプラットフォームの構築と、食の新たなイノベーションを誘発する、地域一体となった面的な取り組みを推進する。併せて商工会議所等との連携を強化し、事業者の掘り起こしを行うほか、生産者と商工業者や飲食店等とのマッチングを進め、本市農産物の付加価値向上と国内外への販路拡大を支援していく。

【その他の質問】 ● 教育問題について ● 事業承継について ● 相統土地国庫帰属制度について
● 道路の維持管理について ● 樹木の安全管理について ● 汚水中継機能改築について

一般質問

質問者：會田 郡山市東

Q 火葬炉の運用について伺う。

A 1日の火葬上限数を18件と設定し、9月で13日、10～3月は75日だった。火葬上限数を引き上げるには火葬炉の施設面の課題、火葬委託従業者の確保、耐用年数短縮の可能性も考慮する必要あり。令和5年12月に策定した施設長寿命証し火葬件数の増加にも対応した施設

Q 施設改修等について伺う。

A 供用開始から34年が経過した施設。郡山市公共施設等総合管理計画個別計画性を検討し、郡山市公有資産活用調整命化計画を策定した。躯体改造は行わず、の増設により混雑緩和に努めるとともに、式化などの改修により、耐用年数を築後

【その他の質問】 ● 通学路安全対策事業について ● 敬老の日の記念品について

9月定例会の

一般質問

質問者：石川 義和 議員



←実際の映像も
ご覧になれます

市民を望まない受動喫煙から護るために分煙施設等の整備を

Q 本市の公共施設には、体育館、開成山公園、文化センター等多くの施設がある。また、うねめまつりなどの人出が多くなるようなイベント等においては、市民が望まない受動喫煙にさらされている。本市も特別交付税を積極的に活用し、駅前・商店街・公園等における公共施設等に分煙施設を設け、自治体の責務を果たすべきと考えるが見解は。

A 今後における分煙施設等の設置については、周囲での健康被害を完全に防ぎきれない可能性があることから、高齢者や妊婦、お子様など、多くの市民の方が利用される公共施設への導入は考えていない。

安積永盛駅舎等の整備について

Q 人口減少が加速する中、各自治体は、自らの自治体への移住促進に取り組んでいる。地域の方、日本大学はじめ各学校に通う利用者の方がバリアフリーにより、安全安心に移動でき、また訪れたい駅にすることが、地域の再開発につながり、結果的に魅力ある郡山の実現につながるが、現段階でのJR東日本との進捗状況は、また、今後どのように整備していくのか。

A 安積永盛駅舎の整備については、JR東日本と継続的に協議を進めている。当駅の整備はバリアフリー化等利便性の高い交通ネットワーク形成の実現を目指しており、今後も地域発展に資する整備となるよう引き続きJR東日本と協議を行っていく。

【その他の質問】 ● 外国人との共生を目指して

一般質問

質問者：福田

こおりやま広域圏の

Q 17市町村約60万人の生活を強いリーダ市長におきましては、こおりやま広域圏の今

A 平成26年に制定した「連携中枢都市圏社会においても一定の圏域人口を有し、成すること」が、示されている。圏域におけるシッブを発揮しながら、「広め合う、高め合う」活かした効果的な連携事業を展開し、圏域付活力ある圏域づくりを進めていく。

手話施策推進法を踏ま

Q 本年6月25日に、手話施策推進法が施行に関する施策をどのように推進していくのか。

A 平成27年4月1日に「手話言語条例」をいる郡山市においては、手話を使用するを尊重し、共生社会の実現を図るという点、策推進法は強力な後押しになるものと認識。今後も法及び条例の趣旨を踏まえ、手話を使い環境づくりを推進し、すべての市民が共に域共生社会の実現に努める。

【その他の質問】 ● 子どもへの性暴力対策について

質問」、「一般質問」

議員



◀実際の映像も
ご覧になれます

について

ちで、上限に達したのは昨年の4～
する待合室、お別れ室、収骨室など
負担の課題、火葬炉の故障リスクと
実施に合わせ最適な運用状況を検
指す。

から、平成30年3月に策定した郡
き、30年度から施設の在り方、方
審議を経て令和5年12月に施設長寿
備の更新による機能向上や、待合室
調、炉前ホール天井及び待合室の洋
・2071年まで伸ばす計画としている。
タクシーについて ●人口問題について

一般質問

質問者：栗原 晃 議員



◀実際の映像も
ご覧になれます

学校給食の安全性について

Q オーガニック給食への取り組みを始める考えはあるのか。

A 学校給食は、児童生徒の心身の健全な発達に資するものであり、本市においても、学校給食衛生管理基準等に基づいて、鮮度の良い衛生的な食材を購入し、安全・安心な給食を安定的に提供している。オーガニックは有機と同義で、有機農産物の日本農林規格(有機JAS規格)の基準に従って生産された農産物と定義されており、有機農産物が質が良く、安価で必要量を安定的に供給できるのであれば、学校給食での使用を検討する。

【その他の質問】●内部統制制度について ●障がい者福祉施設について

●「ウェルビーイング都市実現型」課題発見・解決先進都市の創生について ●観光の振興について

令和6年度 決算概要

一般会計・公営企業4会計を
含む28特別会計

令和6年度決算特別委員会は、令和7年9月26日から10月1日までの実質4日間にわたり決算認定等議案29件について審査し、全会一致で承認されました。決算の概要は次の通りです。一般会計の決算額は歳入が1,607億8,817万円、歳出は1,543億5,494万円で、翌年度への繰越充当財源を差し引いた実質収支は61億6,219万円の黒字決算となっており、公営企業を除く24の特別会計についても黒字決算となっております。一方、財政健全化判断比率は、一般会計の赤字額の割合を示す実質赤字比率及び連結実質赤字比率に赤字額はなく、公債費による財政負担の程度を示す実質公債費比率や、借入金に加え、将来にわたる市財政への負担の大きさを示す将来負担比率についても、健全な状態にあります。また、資金不足もなく良好な状態であります。

な「一般質問」

議員



◀実際の映像も
ご覧になれます

展望について

享いて頂きたいと切に願っているが、椎根
て ような展望をお持ちなのか伺う。

主要綱において、「人口減少・少子高齢
社会経済を維持するための拠点を形
済の拠点として期待されるリーダー
う」の合言葉のもと、各市町村の強みを
兼が安心して快適に暮らし続けられる、

後の展望について

。これを踏まえ、郡山市として手話言語

一般質問

質問者：遠藤 利子 議員



◀実際の映像も
ご覧になれます

「人生会議」わたしの未来ノートについて

Q 人生会議(ACP)は、もしもの時のために自分が望む医療やケアについて前もって考え、事前に信頼できる人と話し合い、共有する取り組みです。本人にとって大切な一冊となる未来ノートを自分事として考える必要がある。今後の活用について問う。

A 人生会議(ACP)の活用により、万が一の場合に本人が希望する医療やケアを受けられる可能性が高まり、家族の精神的負担の軽減や円滑な医療連携にも繋がる。現在、在宅医療・介護連携支援センターにおいて、「わたしの未来ノート」の増刷に向けた作業を進めている。市民向け研修会や医療・介護等の専門職を対象に、それぞれの活用を考える機会を設け、市民一人ひとりにとって大切な一冊となるよう、効果的な活用の検討と、周知啓発、内容の充実を図っていく。

性に関する正しい知識の普及と支援体制について

Q 男女ともに、性に関する正しい知識を得ることは、性犯罪やDVから身を守るだけでなく、子どもを望む方が安心して出産できるなどの波及効果もあると考える。中学生の性の教育に関する現状について問う。

A 各学校において、保健の授業を中心に学校教育全体で二次性徴や生命の連続性、異性の尊重、性との向き合い方、性感染症とその予防、性被害の防止など指導をしている。SNSに関しては情報モラル教室を、性に関する危険回避の方法などについては防犯教室を開催し体験的な学習を実施している。また養護教諭や学級担任等への指導を含む様々な研修を実施している。更に、医師会・助産師会の協力の下、産婦人科医等が全ての中学校等に出向き、指導している。

【その他の質問】●5歳児健診について ●民生委員について ●禁煙及び受動喫煙防止に関する取組みについて



常任委員会報告

本年9月定例会より、行政組織改編に伴い常任委員会の所管部局が変更となり、文教経済・建設環境・生活福祉・総務財政の4つの常任委員会となりました。各委員会の審議内容とPDCAサイクル事業(事業進捗報告と評価)について報告します。

文教経済

栗原 晃、富樫 賢太郎

文化スポーツ観光部、農商工部、農業委員会、教育委員会が所管部局となり、委員会に付託された議案の主なものは、「効果的な企業誘致に向けた動向調査の実施」「トマト黄化葉巻病への緊急対策」等であり、原案の通り可決されました。

PDCAサイクル事業は、農商工(福)融合により、タイパ・コスパをアップし、更なる輸出促進を図る「輸出促進・マーケット開拓事業」を選定しました。

生活福祉

廣田 耕一、良田 金次郎、遠藤 利子

市民部、保健福祉部、子ども部が所管部局となり、当委員会付託分の補正予算、条例議案等については、原案の通り可決されました。請願については、「不安な未来を希望に変えるため、郡山市への制度創設を求める請願書」について可否同数となり、委員長裁決の結果採択すべきとなりました。

PDCAサイクル事業は、「子ども誰でも通園制度」と「ベップキッズこおりやまWEB予約システム導入」を選定しました。

建設環境

會田 一男、石川 義和

上下水道部、建設構想部、都市構想部、環境部が所管部局となり、議案の主なものは、安全で円滑な道路環境の整備事業、道路台帳を窓口交付からウェブサイト公開に移行してペーパーレス等を推進し、市民サービスの向上と業務の効率化を図るための「郡山市手数料条例の一部改正」のほか、東山悠苑の冬季間(12月～3月)の1日当たり火葬対応件数を18件から20件に拡充するために要する経費等、その他議案すべてが原案のとおり可決されました。

PDCAサイクル事業は、「郡山駅西口ロータリーの改修等、駅周辺の混雑対策事業」を選定しました。

総務財政

折笠 正、福田 文子

財務部、総務部、税務部、政策開発部、会計管理者、公平委員会、選挙管理委員会、監査委員、固定資産評価審査委員会が所管部局となり、付託議案について原案通り可決されました。請願については、「軍事予算削減と核兵器禁止条約の署名を求める意見書提出の請願書」、「消費税率5%以下への削減を求める意見書」、「適格請求書等保存方式(インボイス制度)廃止を求める意見書」それぞれを政府に送付することを求める請願書について、賛成少数で不採択すべきとなりました。

PDCAサイクル事業は「公共施設総合管理計画及び個別施設計画の見直し」を選定しました。

決算特別委員会における現地調査

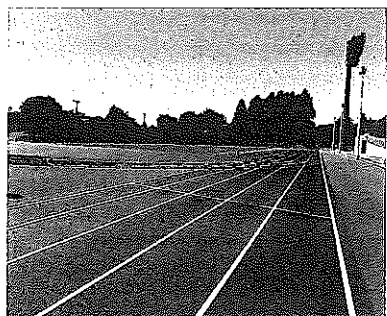
●石塚樋門・ポンプゲート整備事業(9月29日)

ゲリラ豪雨や台風などにより浸水被害が発生している郡山中央工業団地の被害軽減を図るため、令和7年度の完工に向け整備が進められています。



●開成山体育施設整備事業(9月30日)

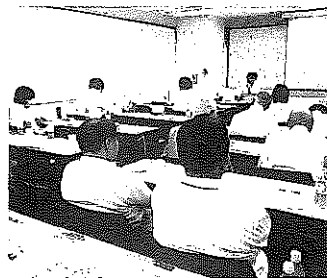
施設の老朽化、各種プロスポーツの開催、スポーツコンベンション等地域活性化への期待等により、民間の資金及びノウハウを活用したPFI事業により整備されました。



新政会行政調査

●地方議会研修会主催「公共施設特別講座」(7月24日)

公共施設の長寿命化・老朽化問題をはじめとした基礎知識の習得、学校の老朽化とこどもの人口減を踏まえた統廃合の考え方について、様々な自治体の事例紹介も交えて学習することができました。



編集後記

猛暑であった夏も彼岸を過ぎたころから秋の気配が感じられるようになりました。稲の刈り取りも進んでおり、米価がどうなるか気になるところです。9月定例会も、当局提案議案はすべて可決され、また令和6年度の決算議案についても承認されました。世界を見渡せばロシアによるウクライナへの侵攻、イスラエルとハマスの紛争など、日本にも大きな影響があり大変心配です。(會田)

ご意見をお気軽にお寄せください
☎(024)924-2507 fax(024)924-0141

虚礼廃止について

公職選挙法により署中見舞など、時候の挨拶状が禁じられております。市民の皆様には、趣旨をご理解いただきご協力を賜りますようお願いいたします。



この印刷物は、環境にやさしい植物性インキで印刷しています。

折込確認書兼折込明細書

1 / 1頁

(送信先)

折込申込者 00169	㈱デザインライフ			様
担当者	様			
TEL	024-923-5555	FAX	024-923-5573	
住 所	郡山市緑町10-17			
E-Mail				

いつもお世話になっております。
ご発注頂いた内容（折込日・サイズ・枚数など）をご確認いただき、
よろしければ「申込者確認欄」に署名又は押印の上、ご返送下さい。

広告主名 00001	新政会だより			様
折込日	25年10月26日(日)			
サイズ	B3	枚 数	66,150枚	

自社担当	01122	
入力担当	01122	
問合せNO	12509290081	

新聞販売店	枚 数	地域指定等
新郡山毎民中央	1,850	毎報サ経日経産系含む全紙へ
毎民郡山駅西C	3,000	毎報サ経日経産系含む全紙へ
郡山毎民桑野	2,900	毎報サ経
(桑野)	2,550	毎報サ経日経産系含む全紙へ
(片平)	350	報日経含む全紙へ
新郡山毎民南部	3,350	毎報サ経日経産系含む全紙へ
毎民郡山西部	2,700	毎報サ経日経含む全紙へ
郡山毎民富久山	2,350	毎報サ産系含む全紙へ
郡山毎民北部	2,450	毎報サ経日経産系含む全紙へ
郡山読売中央	2,450	読友経日経含む全紙へ
郡山読売富久山	3,850	読友経日経産系含む全紙へ
郡山読売大槻	4,100	読友読売・民友
郡山読売開成	2,150	読友読売・民友
郡山読売駅東口	2,200	読友読売・民友
郡山YC希望丘	3,850	読友読売・民友
YC郡山駅西口	2,000	読友河読売・民友・河北
郡山読売麓山	2,300	読友読売・民友
郡山朝日中央	3,000	朝友朝日・民友
新郡山朝日開成	1,600	朝友朝日・民友
郡山朝日南部	1,800	朝友郡山市へ！（須賀川必ず除く）
郡山毎民安積北	3,500	毎報サ経日経産系含む全紙へ
郡山毎民安積南	2,600	毎報サ経郡山市へ！（須賀川必ず除く）
郡山YC郡山南	2,200	読友郡山市へ！（須賀川必ず除く）
郡山栄富三穂田	1,100	毎報経日経含む全紙へ
郡山読友三穂田	650	読友読売・民友
郡山日和田大内	1,200	毎報朝経日経含む全紙へ
郡山舞木販売C	1,200	毎報朝読郡山市へ！（三春必ず除く）
郡山守山馬場	1,850	毎報朝読日経含む全紙へ
郡山柳橋桑島	600	報朝友全紙へ
郡山柴山新聞舗	1,650	毎報朝経日経含む全紙へ
郡山湖南斎藤	500	報読友全紙へ
郡山湖南小増山	350	報朝友全紙へ
「郡山市 計」	65,300	
田村三春集報社	850	西田町へ！
「田村郡 計」	850	
【県南 計】	66,150	

受 付	確 認

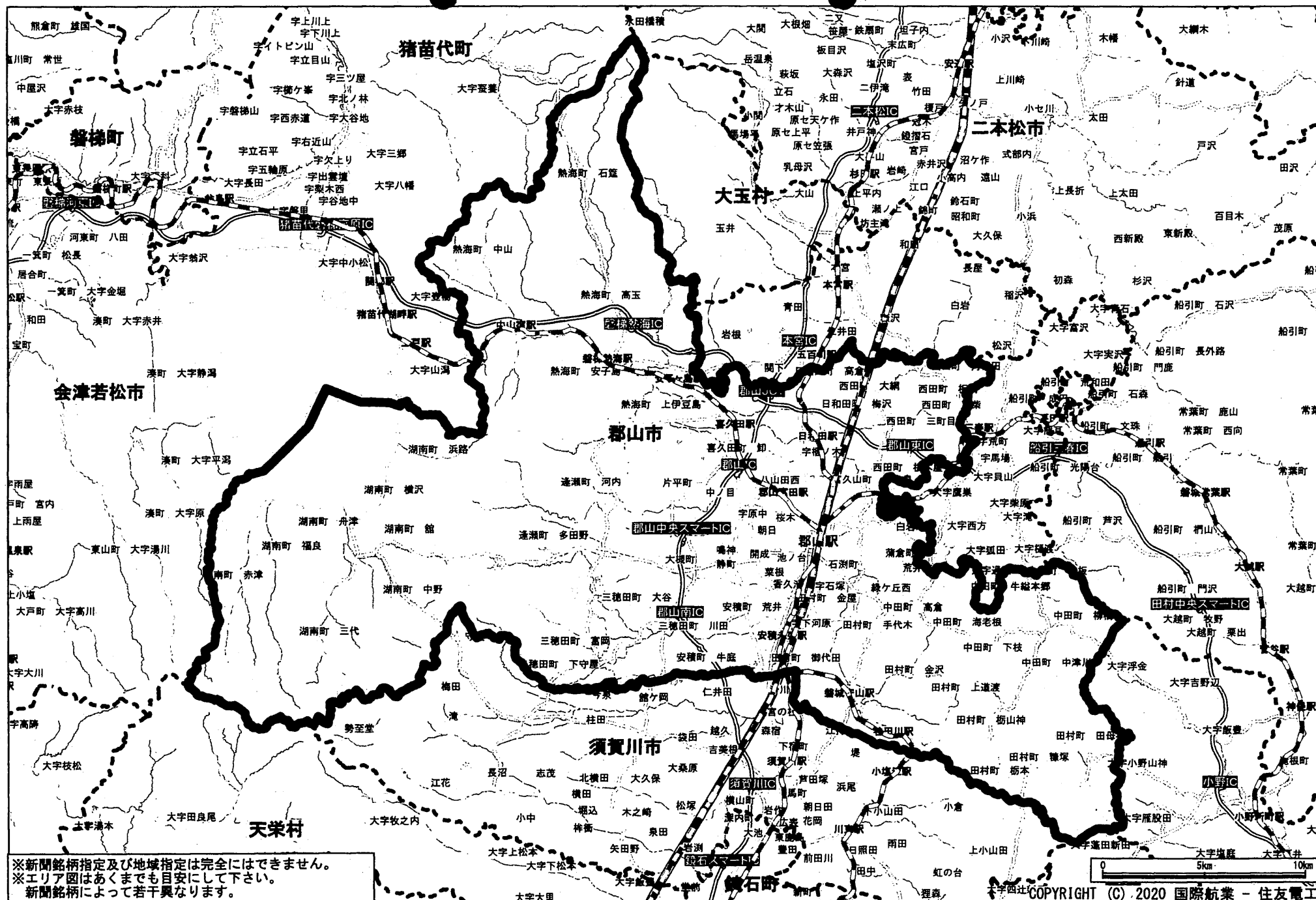
FCF-702(04.04)

電 話	FAX	メー	面 談	受 付 日
				25年 9月 29日

※新聞の銘柄指定および地区指定は完全には出来ませんので御了承下さい。
※折込日3日前までに修正・変更の連絡をいただけない場合は、上記内容にて折込致します。

申込完了確認日時	申込者確認（サイン・印）
年 月 日 :	

 株式会社 ケンオリ
TEL 024(944)8400
KenOri FAX 024(944)9980



※新聞銘柄指定及び地域指定は完全にはできません。
※エリア図はあくまでも目安にして下さい。
新聞銘柄によって若干異なります。

0 5km 10km
COPYRIGHT (C) 2020 国際航業 - 住友電工